

2003年4月
(平成15年)
No. 21

Amizade

アミザーデ

～姉妹都市協会ニュース～

発行 中津川市姉妹都市友好推進協会
岐阜県中津川市かやの木町2番1号
中津川市役所 広報広聴課
〒508-8501 0573-66-1111

ようこそ 中津川へ

第15回岐伯青年親善交流団来市



▲前列左から、津田さん、中川市長、橋爪さん、鈴木協会長、清水さん、中村さん、後列左から、2人目、飯田さん

2002年8月8日(木)、9日(金)の両日、橋爪征四郎氏(63)を団長とする岐伯青年親善交流団一行5名が来市され、市内の青年たちとの交流会や市内見学等を行いました。

今回来市されたのは、団長の橋爪さんをはじめ、清水リーナ晴美さん(35)、飯田ジェルソン幸夫さん(30)、中村ウーゴ純さん(28)、津田ユミ伴さん(20)の5名の方で、いずれも岐阜県出身の2世と3世です。



ブラジル料理を囲んで和やかに交流会



2003年1月19日(日)、ブラジル料理を囲んだ「ブラジルに親しむ交流会」が中央公民館で開かれました。

交流会には、市内在住のブラジルの方とポルトガル語やブラジルの文化を学んでいる自主サークル「ブラジルに親しむ会」会員ら14人が参加しました。

ブラジル料理教室では、苗木在住の川上千鶴子さんを講師に、黒豆と豚肉を煮込んだブラジルの代表的料理「フェジョアータ」などを作りました。

食材は、川上さんのご主人メーロさんがブラジ

ルから取り寄せたものを使い、本場そのものの味に仕上がりました。

試食をかねた昼食会ののち、サンパウロ出身のジョゼさんがギター演奏とブラジルの歌を披露し、日本の流行歌「乾杯」などが飛び出すと参加者も一緒になって歌い出しました。また、ブラジルの話を聞いたり、即席のポルトガル語講座を体験したり、楽しいひとときを過ごしました。



自主サークル「ブラジルに親しむ会」

「ブラジルに親しむ会」は、市主催の「ポルトガル語に親しむ会」を10年あまり受講した生徒の中の有志が開いたサークルで、もう10年以上続いています。ブラジルからの使節団のホームステイの受け入れや、イベントに参加したりして、できる限り生きたポルトガル語を聞きたいと思っています。一昨年の公民館まつりには、ポルトガル語で歌を三曲唄いました。

10年間ご指導していただきました講師の杉村先生がブラジルに帰られたので、現在は松田先生にご指導していただいております。

ポルトガル語を学びませんか

自主サークル「ブラジルに親しむ会」ではポルトガル語の受講生を募集しています。中央公民館で毎月1回、ブラジルの文化やポルトガル語を楽しく学んでいます。

問い合わせ先

ブラジルに親しむ会 小川琴子
☎(0573) 67-2973

ポルトガル語の向上よりもブラジルの風習や料理のことがかなり理解できたと思います。日本で暮らしているブラジルの方は、日本語が上手なので交流しても私たちの語学力はなかなか高まりませんが、積極的に話をする気持ちはブラジルの方にも理解されます。また、ブラジルの方は、へんなポルトガル語でも上手に聞き取って誉めてくれますので、劣等感を持たずに続けられます。人数も少なくても(7人)アップアップしていますが、これからも頑張ってお話を聞いていきたいと思います。

会員 酒井恒子



▲中津川市役所にて

鈴木協会長と記念植樹する橋爪団長▶



▼ふれあい牧場での交流会

鉱物博物館の見学▼



2002年8月8日(木)午前11時、市役所を訪れた一行は、出迎えた中川市長、鈴木協会長らに來市のあいさつをされました。続いて開催された交歓会では、歓迎のあいさつとビデオによる当市の説明を受け、来日しての感想、ブラジルの現況などを話され、記念品の交換を行いました。

午後からは、市内の自主サークル「ブラジルに親しむ会」の講座生の皆さんと一緒に、夜明けの森を訪れ、「ハナノキ」の記念植樹を行い、友好の証としました。その後、鉱物博物館、遠山史料館を見学したり、茶会を経験しました。

夜は、市内の青年たちとふれあい牧場でバーベキューを行い交流を深めました。翌日の9日(金)には、次の訪問地へ関係者の見送りを受けて出発されました。

ブラジルから中津川への便り

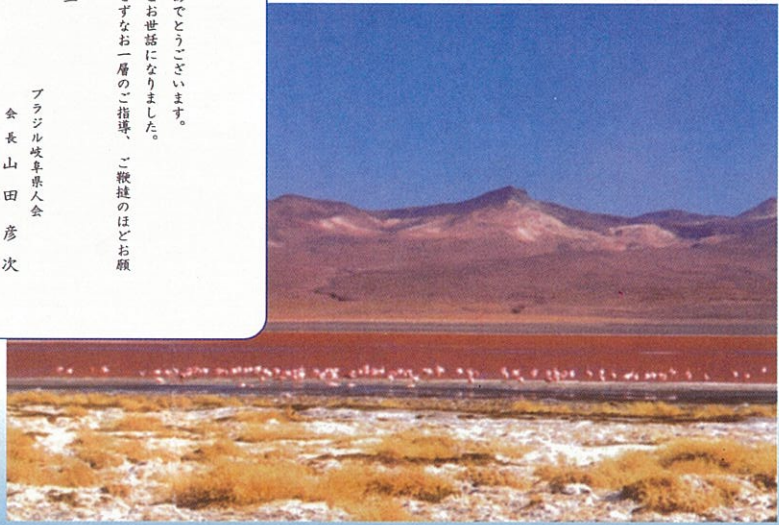


ブラジル岐阜県人会からの年賀状



▲年賀状の表

▼年賀状の裏



標高4千メートルを超すアンデス山脈の中腹にあるコロラド湖、この紅い湖の湖畔に集まるフラミンゴの群。

移住90周年式典に出席を ブラジル県人会山田会長呼びかけ

ブラジル県人会の山田彦治会長(64)が、2002年7月5日(金)中川市長を訪問し、2003年10月にブラジル・サンパウロ市で開く「岐阜県人ブラジル移住90周年記念式典」への中津川市からの出席を呼びかけました。

ブラジル移住は1913(大正2)年3月、県内の11家族44人が広大な農地を求めてサンパウロに移住したのが最初で、その後、渡伯者は続き、現地には、ブラジル県人会が設立され、2001年4月現在その数は381家族1905人に上っています。

県内では、岐阜市、関市、中津川市、益田郡小坂町の4市町がブラジルの都市と姉妹提携するなど結び付きが強く、交流事業も幅広く行われています。

7月2日に来日した山田会長は、県内各地で参加要請を行ってきました。山田会長は、「日系人はすでに5世になっている家族もあり、日本語が話せない世代も多い。来年の式典は日本や県の伝統、文化を見直し、伝承する場にもしたい。」などと語り、多くの県民の参加を募りたいとしています。

平成15年度 会員募集

中津川市姉妹都市友好推進協会では、ただいま会員を募集しています。

- 個人 一口 一千元
- 団体 一口 五千元
- 法人 一口 一万元

申込用紙は市役所広報広聴課または各地区のコミュニティセンター、に備えてあります。多くの皆様のご入会をお待ちしています。

問い合わせ先

中津川市姉妹都市
友好推進協会

(中津川市役所広報広聴課内)
☎(0573)661111

内線(304)

